

トレーニングサービスのご案内

お客様のLinux関連スキルの向上を支援します

トレーニングサービスメニュー

弊社独自のカリキュラムとして下記講座によるトレーニングをご用意しています。お客様のスキル向上にお役立てください。

講座	内容
Linux基礎講座	アプリケーション開発からデバッグまで、Linuxの基礎知識を習得できます。
組み込みLinuxトラブルシューティング講座	Linux上の問題対応のための基本的な知識や技術を習得できます。
Linuxデバイスドライバ講座（初級編）	Linux用デバイスドライバを開発するための基礎技術を習得できます。

Linux基礎講座

■ 概要

Linuxの特徴を理解し、Linux上で動作するアプリケーションの開発からデバッグまでの実体験を通じて、Linux上のプログラム開発のための基礎技術を習得していただく講座です。

■ 到達目標

- Linuxの特徴や機能を説明できる
- 基本的なコマンドを理解し、使用できる
- Linux上で動作するプログラムの開発に必要な基礎知識を知り、概略を説明できる

■ 対象者

Linux上でのプログラム開発技術を習得したい方で、下記条件の全てに該当する方を対象とします。

- Linuxの簡単なコマンドラインによる操作ができること
- C言語によるプログラム開発経験があること

■ 講座内容

Linux上の基本操作からプログラム開発の一連の作業を一通り体験いただくものとなっています。つまり、各学習テーマ毎に講義による説明と演習による実体験がセットとなっています。

学習テーマ：

- Linuxの概要
- Linuxの基本操作
- Linux上でのプログラム開発
 - プロセス/スレッドを扱う処理
 - 排他制御/同期手段
- Linux上でのデバッグ

■ 実施形態

学習形態	集合教育（場所は弊社本社：神奈川県川崎市）
講座時間	1日
人数	1回の講座あたり最大10名
開催時期	お客様のご要求に応じて随時開催いたします
講師	弊社の組み込みLinux技術者

組み込みLinuxトラブルシューティング講座

■ 概要

トラブルシューティングについての事例を交えた講義および、実機を使ったトラブル対応の演習を通じ、組み込みLinux上でのトラブル発生時の様々な対処方法を習得していただく講座です。

■ 到達目標

- トラブルの種類と特徴を説明できる
- 代表的なトラブル解析ツールの名称・使い方を説明できる
- 目的に応じたトラブル解析ツールを選択できる

■ 対象者

組み込みLinux搭載装置の開発あるいは保守を担当される方で、下記条件の全てに該当する方を対象とします。

- 組み込み装置開発の基礎知識があること
- C言語によるプログラミングができること
- Linuxの基本的なコマンド/エディタ操作ができること

■ 講座内容

講義と演習による講座です。特に、弊社で用意している演習課題について、実機（評価ボード）を使用して実際のトラブル対応を体験していただき、実用的なスキルを身に付けていただけます。



演習環境

（裏面につづく）

組み込みLinuxトラブルシューティング講座

■ 講座内容 (つづき)

講義：

- トラブル解析ツールとノウハウの紹介
- 主なトラブルの現象およびトラブル解析ツール使用例の紹介

演習：

- 演習課題（動作不具合の原因究明）によるトラブル対応実体験

演習課題例：

- xtermが起動できない
- ext3イメージファイルをループバックマウントできない
- サウンドドライバを有効化できない

■ 実施形態

学習形態	集合教育（場所は弊社本社：神奈川県川崎市）
講座時間	1日（午前：講義、午後：演習）
人数	1回の講座あたり最大9名
開催時期	お客様のご要求に応じて随時開催いたします
講師	弊社の組み込みLinux技術者

■ 受講者の声（受講者アンケートより）

- トラブルに対していろいろなアプローチがあることが理解できた。
- Linux上でトラブルが発生したとき、適切な調査コマンドでエラーを絞っていく方法を理解した。
- トラブル発生後の作業の取っ掛かりや、ダンプ情報解析の進め方がイメージできた。
- 発生したエラーからどのような手順で、どのようなツールやコマンドを使用して調査を進めて行けば良いかの流れが分かりました。

Linuxデバイスドライバ講座（初級編）

■ 概要

ハードウェア仕様の理解からコーディング・動作確認まで、Linux用デバイスドライバ開発のための基礎技術を習得していただく講座です。

■ 到達目標

- ハードウェア仕様書の内容を理解できる
- デバイスドライバ作成に必要なAPIを説明できる
- アプリケーションとのI/Fを含むデバイスドライバの設計ができる
- デバイスドライバのコーディング・動作確認ができる

■ 対象者

Linux用デバイスドライバ開発を初めて担当する開発者で、下記条件の全てに該当する方を対象とします。

- 組み込み装置開発の基礎知識があること
- Linuxの基本的なコマンド/エディタ操作ができること

■ 講座内容

実際の開発を通じて技術習得していただく、演習主体の講座です。装置を模擬した評価ボードを使用し、そのLED/SW等を制御し、以下の機能を実装したデバイスドライバを開発していただきます。

- 故障通知機能（演習1）
- ハードウェア診断機能（演習2）
- リセット機能（演習3）

■ 実施形態

学習形態	集合教育（場所は弊社本社：神奈川県川崎市）
講座時間	2日 初日：デバイスドライバ開発の概要説明、演習1 二日目：演習2,3
人数	1回の講座あたり最大9名
開催時期	お客様のご要求に応じて随時開催いたします
講師	弊社の組み込みLinux技術者

お申込み

本サービスは、弊社の「組み込みLinux導入/開発支援サービス」の一つとしてご提供いたします。本サービスをご希望の場合は、上記サービスをご契約いただく必要があります。詳細は下記のお問い合わせ先にお尋ねください。既に上記サービスをご契約いただいているお客様は、お客様窓口宛てにご希望の旨、ご連絡ください。

- ・ 本資料で記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本資料で記載されている内容については、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ先

株式会社 富士通コンピュータテクノロジーズ

〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1

<http://www.fujitsu.com/jp/fct/>

上記HPにアクセス後、「当社へのお問い合わせ」ページにある「製品・サービスに関するお問い合わせフォーム」からお問い合わせください。



1280ka02-2